

三河商人道

PART
218



青年部とは 生涯続く出会いがある



【会社・仕事への思い】

21歳のとき、不動産業に興味を持ち飛び込み、34歳に独立起業しました。必死に走り、17年目を迎えました。持続的成長企業を目指し、頑張っています。不動産は、一生に一度か二度あるか。その人その家族の人生の大きな節目に関わる大きさと責任を感じ、不動産の難しさも感じながら、この仕事の面白さ・やりがいを感じたからこそ、30年続けられたと思います。自分の天職と感じています。どんなに交渉が難しく難題があっても、最後にお客さまの「ありがとうございました」の一言で、それまでのことはいい経験と思い出、自分だけの勲章になります。生涯、勉強、成長、走り続ける。

【青年部に入会されたきっかけ】

独立して駆け出しのころ、尊敬する経営者（青年部OB）のお客さまに勧められ、この方が勧めることならまちがいない心配ないと、一切考えることなく入会しました。年齢が近い方も多く、すぐに溶け込めました。

【思い出に残る青年部活動】

- ・五万石みこしで、今はない商売戦隊アキンダーのレッド役を受け、勢い余り出番出だしてコケて恥ずかしかった。笑
- ・担当委員会であきんにゃ～を一から企画・設計・製作にたずさわった。真夏の暑い中、汗だくで製作に励んだ。汗
- ・1月始め雪降るなか、寒中水泳行事に恐る恐る有志メンバーで参加。みんな怖気づいていたので、先頭きって飛び込んだ。恐ろしいほど冷たい。怖
- ・台湾、高雄交流訪問。初めての台湾で、夜な夜なはずかしいバカ騒ぎをした。恥

【趣味など】

インドア 珈琲（サイフォンなど）・靴みがき・プチDIYアウトドア ロードバイク（少々）、トレッキング、筋トレ（プチマッチョ）
これからやりたい ソロキャン笑、サップ

【青年部とは・・・】

- ・ふだん関わることない業種の方々と触れ合い、いろいろな考え方やヒントが得られる。
- ・経営者としての悩み・課題を共有でき、お互いに励み合いと学びがある。
- ・青年部メンバーというだけで、素直に信用できお付き合いができる。



取材担当/
渉外委員会
中根邦博、飯田光明、
岩元満砂美、永坂広之